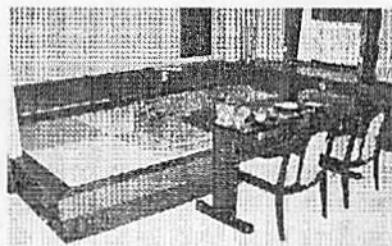


## ユニバーサルデザイン導入



UDルームには座れる高さの豊スペースを設ける

# バリアフリー11室改修

## 富士レークホテル 高齢者需要狙う

ほか、各所にスロープを設けるなどUD化を取り組んできた。改修で全客室八十部屋強のうち十三部屋がUDとなる。一部屋(定員四十七人)の料金は一泊六万一千円と高いが、需要はあると判

た。UDルームは、車いすを採り入れる。

でも使いやすいように引き戸を導入し、全体的にスペースを広くする。部屋の端に座れる高さの豊スペースを設けるほか、スリッパを脱ぐ際やカラオケ用のスペースを設けるなど細やかな気配

も実現する。低カロリーや油分控えめといった要望に個別に対応するレストランも来夏をメドに新設する。ゲームやカラオケ用のスペースを改修。ゲーム機の数は現在の四十台から五台に減らす。

寄室とレストランを合わせて投資額二億五千万円を見込んでおり、中小企業金融公庫と商工組合中央金庫の協調融資で全額をまかなう。

UDを本格導入すること

で売上高十億円台の回復を目指す。バブル期に十億円を超えた売上高はここ数年九億円前後で推移している。井出泰治常務は「設備を整えるだけでは無意味。従業員の接客方法などをソフト面を抜き